令和４年度

学校関係者評価

結果報告書

（令和５年３月）

一般社団法人

東予理容美容専門学校

まえがき

本校の校訓は「技を競って　心を磨く～美のスペシャリストの育成」である。今後、持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に社会づくりに貢献できる人間性豊かな人格の完成を目指すものである。本校では専修学校として「将来、理容業・美容業に従事する者としての使命感をもち、より優れた人間美の創造を実現するための美的感覚や理容技術・美容技術を身に付けた人材を育成する」「理美容における業務を衛生的、安全に実施するための確かな技術とマナーを身に付け、自ら進んでコミュニケーションを図ることができる」「個々の客の要望に応じた理容技術、美容技術を確実に提供できるよう総合的な実践的能力の基礎を身に付ける」を目標に掲げている。

「地域に開かれた信頼される学校づくり」を目指して、修得した理美容技術を生かした地域社会貢献活動にも力を入れ、創意工夫ある教育課程の編成に努めている。この学校関係者評価は、令和５年１月に実施した自己評価を中心に行われた。この報告書はこの学校関係者評価結果をまとめたものである。

Ⅰ　令和４年度　自己評価の基準及び点検中項目

東予理容美容専門学校は、学校の目標・計画等に沿った取組の達成状況や、それらの取組が適切に行われたどうか等について、従来から積極的に自己点検・自己評価を実施し、その結果を公表するとともに、教育活動や学校運営の改善に活用してきた。令和５年４月には、表 1 に示した評価基準（１０基準）について実施した自己評価結果報告書も併せて公表した。なお、この評価基準は、専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省）に準拠し本校の特色を踏まえて作成したものである。

表１　令和４年度自己評価の基準及び点検中項目

評　価　基　準	点　　検　　中　　項　　目
基準１　学校の教育目標	a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。
	b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。
	c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。
	d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。
基準２　学校運営について	a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。
	b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。
	c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。
	d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。
	e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。
	f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。
基準３　教育活動	a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
	b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
	c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
	d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
	e 実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
	ｆ 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
	g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか
	h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか
	i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組が行われているか

基準４　学修成果	a 就職率の向上が図られているか
	b 資格取得率の向上が図られているか
	c 退学率の低減が図られているか
	d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
機銃５　学生支援	a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
	b 学生相談に関する体制は整備されているか
	c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
	d 学生の学内生活環境への支援は行われているか
	e 保護者と適切に連携しているか
	f 卒業生への支援体制はあるか
基準６　教育環境	a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
	b 防災に対する体制は整備されているか
基準７　学生の受入れ募集	a 学生募集活動は、適正に行われているか
	b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
	c 学納金は妥当なものとなっているか
基準８　財務	a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
	b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
	c 財務について会計監査が適正に行われているか
	d 財務情報公開の体制整備はできているか
基準９　法令等の遵守	a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
	b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
	c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
	d 自己評価結果を公開しているか
基準10　社会貢献・地域貢献	a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
	b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
	c 地域に対するオープンキャンパス等を積極的に実施しているか

この令和５年１月に実施した自己評価結果を踏まえて、自己評価結果の客観性や透明性を高めるため、地域有識者、保護者代表、理容関連企業代表者、美容関連企業代表者から構成される学校関係者評価委員に個別に意見を聴取した。今年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校関係者評価委委員ごとに個別に意見を聴取する形式をとった。

令和４年度の教育活動を振り返り、自己評価の評価基準各項目ごとの評価結果や取組状況、今後の課題や抱負等の説明、自己評価結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校関係者評価委員で客観的に評価することを基本とすることを確認した。

具体的には、「自己評価の内容が適切か」「自己評価の内容を踏まえた今後の改善方策が適切か」「学校の重点目標や自己評価の評価項目が適切か」「学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か」などを評価するとともに、学校運営の継続的改善を図る観点から専門的立場から助言を頂いた。この学校関係者評価は、東予理容美容専門学校から提出した自己評価結果報告書を中心としているが、同専門学校が公開しているインスタグラムやホームページ等の情報も参考にしつつ実施した。

この報告書は学校関係者評価委員の意見・助言等をまとめたものである。今後、各委員の意見・助言等を教育活動、学校運営等の改善に活用することで、より豊かな教育活動の創造・実現、社会に役立つ人材の育成に向けて取り組んでいきたい。

Ⅱ　評価結果の総評

※ 今年度もコロナ禍でいろいろな行動が制限されることもあったが、学校で様々な感染対策をとって下さり、生徒の安全を第一に考慮してくださったおかげで、安心して専門的・職業実践的な資格や技術を学ぶことができていた。また、地域貢献活動にも学校が積極的に参加することで、生徒が社会とのつながりを身近に感じ、自分たちが社会に貢献していける喜びを体感でき、校

訓にもある「心を磨く」ことにつながっており素晴らしいと思う。

※ 学校がトータルビューティーを柱に、ネイリング・まつ毛エクステンションなど、種々の資格取得にも力を入れており、理容師・美容師の活躍のフィールドを広げており、本校の特性を生かした教育課程の編成・実施がとても魅力的だと思う。

※ 保護者としては、一人一人の個性を大切にして指導や助言を行っていただき、生徒の心に寄り添って接していただいていることが、常に感じられて、とても有難く感謝している。

※ 今後、コロナ禍がいつ収まるかわからない状況にはありますが、引き続き、SNS や地域貢献ボランティア活動等を通して、積極的に本校の良さを情報発信していってほしい。

※ 今年度、全国理容美容学生技術大会にネイル部門２名、デザイン画部門３名が参加できたのは、本校の日頃の取組の大きな成果であり、今後とも本校の特色を生かした教育課程の実施に努めていってほしい。また、今年度、専門課程の修了者が専門士の資格を授与されるよう取り組んでいただき感謝している。